

本学における生成AIの適切な利用に関する方針の策定について

令和8年7月10日

公立大学法人和歌山県立医科大学 理事長・学長 中尾 直之

近年、生成 AI の進歩には目覚ましいものがあり、教育・研究活動や業務において広く利便性が享受されているところです。一方、その利便性ととも、情報セキュリティ等に関する課題を包含していることから、それらを正しく理解することが必要です。ついては、下記の通り本学における生成AIの適切な利用に関する方針を策定しましたので、本方針に基づき生成 AI を適切に利用してください。

記

基本的な留意事項

1. 生成物(出力文章)の信憑性等

生成 AI からの生成物(出力)は誤りを含む可能性があるとともに、偏った価値観・倫理観が反映される恐れがあります。したがって、出力された内容の確認・裏付け作業を行ない、必ず事実確認(ファクトチェック)を行うことが重要です。

2. 個人情報・機密情報の漏洩

個人情報や業務で知り得た機密情報を入力すると、機械学習用のデータとして利用され、他の利用者への回答として出力されることとなります。また、生成 AI のなかには、例えば本学においてライセンスを保有する「Google Workspace for Education Fundamentals Gemini」、「Microsoft365 Education 版 Copilot」等、入力した情報が機械学習に利用されないよう設定できるものもありますが、情報漏洩のリスクは依然残ります。そのため、本学が別途セキュアな環境を構築する場合等を除き、生成 AI に個人情報や機密情報を入力することは原則禁止します。

3. 著作権侵害

生成物が既存の著作物と同一・類似している場合は、当該生成物を利用する行為が著作権侵害に該当する可能性があります。生成AIを利用して得た情報は適切に引用し、利用前に必ず著作権を確認してください。

教育活動における利用

生成AIは、教育分野では、学習効果の向上といった効果が期待されているものの、その仕組みを十分に理解せず、誤った利用をしてしまうと、学修機会の喪失や学術的誠実性の毀損に繋がるおそれがあります。

また、学修の本質は、学生の主体的な学びであり、これを阻害することがないように生成AIの正しい理解に基づいた適切な利用が必要です。

利用にあたっては、以下の点に注意してください。

1. 生成AI利用の原則

- ・ 生成AIは、論点整理、情報収集、文書校正、翻訳、プログラミング補助など、主体的な学びを支援するツ

ールとして利用してください。

- ・生成AIの生成物をそのまま使い、自らの成果として偽ってはいけません。
- ・レポート作成等に生成AIを利用した場合は、利用した旨、利用した箇所、利用した生成AIの名称などを必ず明記するようにしてください。
- ・上記は、生成 AI 利用にあたっての基本原則であり、個別の授業・課題での利用可否等については、事前に担当教官の指示を仰ぐ必要があります。

2. 禁止・不適切な使用例

- ・思考過程を省略し、生成 AI 出力の丸写し、軽微改変によるレポート等作成を行うこと。
- ・臨床実習において、臨床判断の根拠として使用すること。
- ・試験、課題提出等で担当教官の許可を得ずに使用すること。

3. 教員の役割

- ・生成 AI の利用制限などは、各授業の担当教員が個別に判断します。
- ・上記「1. 生成 AI 利用の原則」「2. 禁止・不適切な使用例」に即して、学生を指導します。
- ・学生が提出するレポート等の成果物に、生成 AI がどの程度利用されたかを判断することは困難なため、成績評価の方法に配慮が必要です。
- ・生成 AI の使用方法に関する学生への指針を提示する場合は、必要に応じシラバスへの追記を検討します。

4. 継続的な見直し

- ・以上の内容については、生成 AI の急速な進化、教育の実態等、今後の状況変化を踏まえ、継続的な見直しを行います。

研究活動における利用

未発表の研究成果、研究データに関する情報については取扱いに十分留意し、情報流出のリスクが否定できない場合には絶対に入力しないようにしてください。また、下記についても留意してください。

1. 研究の透明性・再現性の確保

生成 AI を利用することで、画像の編集・加工、データの要約等が容易になりますが、生成された情報をそのまま用いると意図せず研究不正に該当するおそれがあるため、十分な注意が必要です。研究の透明性や再現性を確保し、研究成果に対する責任は研究者自身が負うことを十分に理解してください。

2. 各研究活動におけるルールの遵守

生成 AI を用いた成果物を研究に含める場合は、使用した AI ツールやモデル、プロンプト、生成内容の出典を明示するなど、投稿先の学術誌や学会の方針に従うことが求められます。

特に、一部の学術誌では、生成 AI を用いて生成されたテキストや図・画像等を使用した論文を受け入れない方針を示しています。論文の掲載を想定している場合等には、当該学術雑誌のポリシーを必ず確認してください。